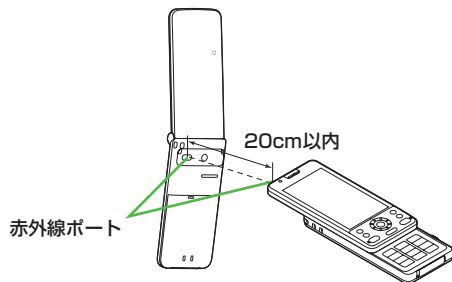
通信・外部接続

赤外線通信

赤外線通信をご利用になる前に

電話帳やスケジュール、メール、ブックマーク、撮影した画像などのデータを他の赤外線通信対応機器（パソコンや携帯電話など）とやりとりできます。

- 本機の赤外線通信機能は、IrMC1.1規格に準拠しています。ただし、相手側の機器がIrMC1.1に準拠していても、送受信できないデータがあります。
- 赤外線ポートが汚れていると、通信失敗の原因になることがあります。汚れているときは、傷がつかないように柔らかい布で拭いてください。
- 直射日光が当たる場所や蛍光灯の真下、赤外線装置の近くでは、これらの影響によって正常に通信できない場合があります。
- 本機と赤外線通信対応機器の赤外線ポートを20cm以内に近づけてください。このとき、両方の赤外線ポートがまっすぐに向き合うようにし、データの送受信が終わるまで動かさないでください。また、間に物を置かないようにしてください。

赤外線通信で送受信できるデータ

データ ＼ 送受信条件	1件	全件
電話帳（オーナー情報）	○	最大1000件
スケジュール※1	○	最大1000件
予定リスト	○	最大100件
受信メール	○	最大3000件
送信メール	○	最大1000件
下書きメール	○	最大10件
メモ帳	○	最大20件
メロディ	○	×
静止画※2※3	○	×
動画※3	○	×
ブックマーク（Yahoo!ケータイ、PCサイトブラウザ）	○	それぞれ最大100件
ウィジェット※3	○	×

○：送受信できます。　×：送受信できません。

※1 登録した休日・記念日は送受信できません。

※2 Flash® 画像も含みます。

※3 複数件の送受信もできます。

お知らせ

- 以下のデータは送信できません。
  - ・本機外への出力が禁止されているファイル
  - ・USIMカード内の電話帳やSMS
- データ受信中に本機に保存できるそれぞれの最大数に達すると、それ以上受信できません。（メモリ容量一覧☞P.18-24）

データを1件／複数件送受信する

●赤外線通信で送受信できるデータについて（☞P.11-2）

データを送信する

1 送信するデータの画面で以下の操作を行う

送信するデータ	操作・補足
電話帳	> Y![メニュー]→赤外線送信→電話帳送信
オーナー情報	> 📷[赤外線]
メール	> Y![メニュー]→赤外線送信→1件
ブックマーク	> Y![メニュー]→外部機器送信→赤外線送信→1件送信
静止画／動画／ウィジェット	> Y![メニュー]→赤外線送信 ●複数件送信する場合は、Y![メニュー]→複数選択→送信するデータにチェック→Y![メニュー]→赤外線送信
上記以外	> Y![メニュー]→赤外線送信

2 YES

データの送信を開始します。

データを受信する

メインメニューから ツール▶赤外線受信▶受信

1 データを受信したら、YES

30秒以内に送信側からデータを送信してください。

●続けて受信する場合は、確認画面でYESを選択します。

データを全件送受信する

全件送受信時のご注意

●全件受信すると、それまで登録していたデータはシークレットデータや保護データも含めすべて削除され、受信データで上書きされます。

●電話帳を全件送信するとオーナー情報のデータも一緒に送信され、受信側のオーナー情報は自局番号以外すべて上書きされます。

認証パスワードについて

認証パスワードは赤外線通信やICデータ通信で全件送受信を行う際に任意に設定する4桁の数字です。受信側／送信側とも同じ認証パスワードを入力する必要があります。

データを全件送信する

1 送信するデータの画面で以下の操作を行う

送信するデータ	操作・補足
電話帳	> Y![メニュー]→赤外線送信→電話帳全件送信
メール	> Y![メニュー]→赤外線送信→全件
ブックマーク	> Y![メニュー]→外部機器送信→赤外線送信→全件送信
上記以外	> Y![メニュー]→赤外線全件送信

2 端末暗証番号を入力→認証パスワードを入力→YES

相手側で同じ認証パスワードを入力すると、データの送信を開始します。

データを全件受信する

メインメニューから ツール▶赤外線受信▶全件受信

1 端末暗証番号を入力➔送信側で入力した認証パスワードと同じ番号を入力➔**YES**➔**YES**

登録しているデータが削除され、データの受信を開始します。

Bluetooth®

Bluetooth® 機器と本機をBluetooth® 通信で接続すると、以下の機能が利用できます。

機能	機器（例）	内容
ハンズフリー通話（☞P.11-8）	ヘッドセット ハンズフリー機器	ワイヤレスでハンズフリー通話ができます。
ワイヤレス再生（☞P.11-9）	オーディオ機器	デジタルテレビやビデオの音声、ミュージックプレイヤーの音楽などを外部スピーカーなどからワイヤレスで再生できます。
インターネット接続（☞P.11-9）	パソコン	本機を外部モデムのように使って、ワイヤレスでインターネットに接続できます。
電話帳の送受信（☞P.11-7）	パソコン 携帯電話	電話帳のデータをワイヤレスで送受信できます。

こんなこともできます！

設定 ●接続中のヘッドセット機器やハンズフリー機器に着信音を送信しない ●ヘッドセット機器やハンズフリー機器で通話中にBluetooth® が切断されたときに本機で通話を継続する ●ヘッドセット機器を接続していても常に本機から発信する ●ハンズフリー機器接続中に発信／着信応答した場合、常にハンズフリー機器側で通話する（☞P.17-16）

Bluetooth® をご利用になる前に

本機のBluetooth® の主な仕様

通信方式	Bluetooth® 標準規格 Ver. 2.0+EDR準拠
対応プロファイル※1	HSP: Headset Profile HFP: Hands-Free Profile A2DP: Advanced Audio Distribution Profile AVRCP: Audio/Video Remote Control Profile DUN: Dial-up Networking Profile OPP: Object Push Profile
出力	Bluetooth® Power Class2
使用周波数帯※2	2.4GHz (2.402GHz~2.480GHz)
通信距離※3	約10m

※1 接続する相手機器もBluetooth® 機器であり、同じプロファイルに対応している必要があります。
※2 Bluetooth® 機器が使用する電波帯（2.4GHz帯）は、さまざまな機器が共有しています。それらの影響によって、通信速度／通信距離が低下したり、通信が切断されることがあります。
※3 機器間の距離や障害物、電波状況、相手機器などにより変化します。

Bluetooth® 利用時のご注意

- 本機はすべてのBluetooth® 機器との接続／動作を保証するものではありません。
- 接続するBluetooth® 機器は、Bluetooth® SIGの定めるBluetooth® 標準規格に適合し、認証を取得している必要があります。
- 接続するBluetooth® 機器がBluetooth® 標準規格に適合していても、相手機器の特性や仕様によっては接続できない、操作方法や表示／動作が異なる、データのやりとりができないなどの現象が発生することがあります。
- 通信を中断する操作を行った場合、実際に中断が完了するまでに時間がかかる場合があります。
- ワイヤレス通話やハンズフリー通話をするとき、接続機器や通信環境により雑音が入ることがあります。
- ヘッドセット機器／ハンズフリー機器の使いかたについては、各機器に付属の取扱説明書を参照してください。

Wi-Fi機器との電波干渉について

Bluetooth® とWi-Fi（IEEE802.11b/g/n）は同一周波数帯（2.4GHz）を使用するため、Wi-Fiを搭載した機器の近くで使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合、次の対策を行ってください。

- 本機やワイヤレス接続するBluetooth® 機器は、Wi-Fi機器と10m以上離してください。
- 10m以内で使用する場合は、Wi-Fi機器の電源を切ってください。

Bluetooth® 機器を登録／接続する

Bluetooth® 機器と接続するときは、あらかじめ本機にBluetooth® 機器を登録し、各機能に対応したサービスで接続する必要があります。

Bluetooth® 機器を検索して登録する

近くにあるBluetooth® 機器を検索し、検索・登録デバイスリストに登録します。

- 登録した機器は、次回からBluetooth® パスキーを入力する必要がなくなります。
- 一度に最大20件検索でき、最大10件検索・登録デバイスリストに登録できます。
- 登録する機器は、あらかじめ接続待ちの状態にしておいてください。
- 登録した機器との接続に失敗する場合は、再度デバイス登録（☞11-8）を行ってください。

メインメニューから ツール▶Bluetooth ▶検索・登録デバイスリスト

1 **YES**※

検索が始まり、本機に応答してきた機器のデバイス種別アイコンとデバイス名称が表示されます。

- 登録したい機器が表示されない場合は、✉**[検索]**を押します。

※ すでに登録した機器がある場合は、リスト表示の中から登録したい機器を選択➜サービスを選択

2 機器を選択➜**YES**➜端末暗証番号を入力

3 Bluetooth® パスキーのテキストボックスを選択➜Bluetooth® パスキーを入力

4 サービスを選択

Bluetooth® 機器と接続します。接続が完了すると、画面上部に「(Bluetoothアイコン)（青色）」が点滅します。一定時間Bluetooth® 機器との通信がないと「(Bluetoothアイコン)（黒色）」の点灯に変わり、低消費電力状態となります。

- 複数のサービスが利用できる機器の場合は、続けて他のサービスを追加する確認画面が表示されます。
- 接続中は「(アイコン)（青色）」、接続待ちは「(アイコン)（グレー）」が表示されます。
- **ダイヤルアップ**を選択した場合は、本機を接続待ちにします。
- 登録した機器が対応しているプロファイルによらず、**ダイヤルアップ**は選択できます。

Bluetooth® パスキー（認証コード）について

Bluetooth® パスキーはBluetooth® 機器どうしを接続する際に任意に設定する1～16桁の英数字です。デバイス登録を行うときには、受信側／送信側とも同じパスキーを入力する必要があります。

- すでに登録済みの機器の場合、パスキーの入力は必要ありません。

■ 検索・登録デバイスリスト画面について

❶ **デバイス種別**

デバイス種別アイコンが表示されます。

❷ **デバイス名称**

デバイス名称が表示されます。検索時に名称が検出できなかった場合はBluetooth® アドレスが表示されます。

検索・登録デバイスリスト画面

❸ **接続状態**
●：接続中　◎：未接続　☒：未検出　NEW：未登録

❹ **保護**
登録内容が保護されている場合に表示されます。

❺ **プロファイル状態**
プロファイルの状態を表すアイコンが表示されます。

表示例	文字色	背景色	枠色	状態
HSP	青	グレー	なし	未接続（未登録）
HSP	青	グレー	青	未接続（登録済み）
HSP	白	緑	なし	接続中
HSP	緑	白	緑	接続待ち
HSP	白	薄緑	なし	優先デバイス設定
HSP	グレー	グレー	なし	未対応

こんなこともできます！

設定　●本機周辺のBluetooth® 機器を検索する時間を設定する（☞P.17-16）

Bluetooth® の機能を停止する

接続中や接続待ちのサービスをすべて停止し、本機のBluetooth® 機能をOFFにします。

メインメニューから ツール▶Bluetooth

1 **Bluetooth OFF→YES**
- 前回起動していたBluetooth® の接続待ちの状態を有効にするには：**Bluetooth ON**

Bluetooth® 機器を接続待ちにする

メインメニューから ツール▶Bluetooth▶接続待ち

1 接続待ちにするサービスにチェック→✉**[完了]**
- 解除する場合は、解除するサービスを選択し、チェックを外します。

Bluetooth® 通信で電話帳を送受信する

データを送信する

1 電話帳の画面でY!**[メニュー]→Bluetooth送信**

2 **1件送信する場合**
電話帳送信→送信先のBluetooth® 機器を選択

全件送信する場合
電話帳全件送信→送信先のBluetooth® 機器を選択→端末暗証番号を入力

3 **YES**

データを受信する

メインメニューから ツール▶Bluetooth ▶Bluetooth受信

1 **1件受信する場合**

受信→YES

全件受信する場合

全件受信→端末暗証番号を入力→**YES**→**YES**

- データ受信中に本機に保存できるそれぞれの最大数に達すると、それ以上受信できません。（メモリ容量一覧 ☞P.18-24）

こんなこともできます！

設定 ●電話帳送信時の認証と暗号化の設定をする ●電話帳全件送信時にパスワードを入力する（☞P.17-16）

Bluetooth® に関する機能

共通操作▶ **メインメニューから ツール▶Bluetooth**

■ 検索・登録デバイスリスト画面表示中に利用できる機能

> **検索・登録デバイスリスト**→Y!**[メニュー]**→項目を選択（下記参照）

項目	操作・補足
デバイス登録	> 端末暗証番号を入力→登録の操作を行う（☞P.11-6手順3以降）
優先デバイス設定	音声電話やTVコール着信時に優先して接続するBluetooth® 機器を設定します。 ●ヘッドセットサービス対応のBluetooth® 機器のみ設定できます。 ●解除する場合は同様の操作を行います。
保護/解除	デバイス機器を保護／解除します。保護することによって削除や上書きされないように設定できます。
デバイス名称変更	> デバイス名称を入力
登録デバイス削除	> **YES**
登録デバイス情報	デバイス機器のデバイス名称やBluetooth® アドレス、デバイス種別、対応プロファイルを表示します。
ショートカット登録	ショートカットに登録します。（☞P.1-18）

■ Bluetooth® 機器を使ってワイヤレスでハンズフリー通話する

> **検索・登録デバイスリスト**→機器を選択→**ヘッドセット**／**ハンズフリー**→**YES**→Bluetooth® 機器で電話をかける／受ける

■ Bluetooth® 機器を使ってワイヤレスで再生する

> **検索・登録デバイスリスト**→機器を選択→**オーディオ**→デジタルテレビを視聴／動画やビデオ、音楽を再生

- SCMS-T方式の著作権保護に対応しているA2DP対応Bluetooth® 機器でのみデジタルテレビやビデオの音声を再生できます。

■ Bluetooth® 機器を使ってワイヤレスでインターネット接続する

> **検索・登録デバイスリスト**→機器を選択→**ダイヤルアップ**

- ダイヤルアップ接続待ち状態になります。
- Bluetooth® 機器のモデム設定や操作のしかたについては、ご使用になる機器の取扱説明書を参照してください。
  パソコンをご利用の場合、パソコンにユーティリティーソフトウェア（103P）の「Modem Wizard」を下記のURLよりダウンロードし、インストールする必要があります。
  http://panasonic.jp/mobile/support/download/103p/index.html
- ダイヤルアップ接続方法については、「Modem Wizard」のヘルプを参照してください。
- 携帯電話にパソコンやPDAを接続してインターネットをご利用になる場合は、短期間で大量のパケット通信が行われることが多く、パケット通信料が高額になる可能性があります。通信料を確認しながらのご利用をおすすめします。

■ Bluetooth® 機器をダイヤルアップ登録待ちにする

> **ダイヤルアップ登録待ち**→端末暗証番号を入力→**YES**→Bluetooth® パスキーのテキストボックスを選択→Bluetooth® パスキーを入力

ソフトバンクユーティリティーソフト

ソフトバンクユーティリティーソフトを利用すると、ソフトバンク携帯電話の電話帳、カレンダー、予定リスト、メール、ブックマーク、メモ帳、データフォルダなどをパソコンで閲覧／編集できます。

- ソフトバンクユーティリティーソフトの詳細、およびダウンロードについては、下記のURLなどで、ご確認ください。
  http://www.softbank.jp/mb/r/sbu/

お知らせ

- ソフトバンクユーティリティーソフトをご利用になるには、USBケーブル（オプション品）が必要になります。
- データフォルダのS!アプリ／TV／ブック／きせかえアレンジ／デコレメールテンプレート／フォント／その他ファイルはバックアップできません。
- 著作権保護ファイルはバックアップできない場合があります。
- USBモード設定（☞P.11-10）は**通信モード**に設定してください。

USB

本機とパソコンを指定のUSBケーブル（オプション品）で接続して、データ転送やデータ通信ができます。

USBの接続モードを設定する

《お買い上げ時》通信モード

メインメニューから 設定▶外部接続▶USBモード設定

1 項目を選択（下記参照）

項目	操作・補足
通信モード	パケット通信、64Kデータ通信、データ送受信やUSBハンズフリー対応機器での通話ができます。（☞P.11-9）
microSDモード	microSDカード内のデータの読み込み／書き込みができます。（☞P.10-20）

USBケーブルを使ってデータ転送をする

- ソフトバンクユーティリティーソフトを使って転送する（☞P.11-9）
- microSDモードを使って転送する（☞P.10-20）

USBケーブルを使ってデータ通信をする

パソコンと本機を接続して、本機を外部モデムのように使ってインターネットに接続できます。

- ユーティリティーソフトウェアを下記のURLよりダウンロードしてインストールする必要があります。
  http://panasonic.jp/mobile/support/download/103p/index.html

1 ユーティリティーソフトウェア（103P）の「USBドライバ」と「Modem Wizard」をパソコンにダウンロードし、インストールする

2 本機を**通信モード**（☞左記）に設定し、パソコンと本機をUSBケーブルで接続する
- USBケーブルの接続は、本機の電源を入れた状態で行ってください。

3 「103P Modem Wizard」を起動し、通信設定を行う
- 「Modem Wizard」は、APNやダイヤルアップの設定が簡単に行えるツールです。
  設定方法、起動方法については、「Modem Wizard」のヘルプを参照してください。

お知らせ

- 携帯電話とパソコンやPDAを接続してインターネットをご利用になる場合は、短期間で大量のパケット通信が行われることが多く、パケット通信料が高額になる可能性があります。通信料を確認しながらのご利用をおすすめします。